

福島県職員

2022

獣医師・畜産職募集

Working together toward a brighter future



## 福島県の位置

東北の南端にあり  
東北の玄関口

東京からは  
おおむね200km

東西南北に鉄道、  
高速道路など  
交通網が発展

北海道、岩手県に  
次いで全国で  
3番目の広さ。

東北新幹線で  
東京から  
約1時間20分  
(郡山)



## 豊かな自然、史跡、伝統文化

福島県は、浜通り、中通り、会津の3つの地域に区分されます。

それぞれの地域で、豊かな自然、史跡、伝統文化などが  
数多く残っており、見るものを魅了します。

また、登山、カヌー、スキー、スノーボードなど

どの季節においても美しい自然を舞台にレジャー・スポーツの満喫が可能です。

このように、首都圏近郊でありながら、ゆとりのある環境で生活することが出来ます。



尾瀬



相馬野馬追



裏磐梯



南会津



会津彼岸獅子

## 勤務先、待遇

- **職務内容** 家畜保健衛生所、畜産研究所、食肉衛生検査所、動物愛護センター等に勤務し、家畜保健衛生・食品衛生・試験研究等の業務に従事
- **給料等** 福島県給与規定に基づき支給  
 (令和4年4月1日新規採用者の給与の例 大学新卒の場合)  
 家畜保健衛生所に勤務: 月額279,200円<sup>※1</sup>+ $\alpha$ <sup>※2</sup>

※1 給料月額のほか、初任給調整手当及び給料の調整額を含む、基本的な給与の額です。  
 ※2 基本的な給与のほか、期末・勤続手当(ボーナス)、超過勤務手当(時間外勤務手当)、通勤手当、住居手当等がそれぞれの要件により支給されます。  
 \*農林水産部では畜産課、保健福祉部では食品生活衛生課など、本庁に勤務する場合があります。

## 獣医師の業務内容 (家畜保健衛生所)

### 家畜伝染病の予防

- 家畜伝染病の発生予防、まん延防止のために家畜の検査を行う。
- 豚熱や鳥インフルエンザなどの特定家畜伝染病の発生に備えて平時から体制整備を行い、万が一の発生時には殺処分や消毒などの防疫措置を行う。



### その他

- 動物病院を定期的に立入検査し、適正な獣医療の提供がされるよう獣医師を指導する。
- 動物用医薬品販売業者などに立入検査し、動物用医薬品が適正に流通されるよう指導する。
- その他、家畜人工授精師の指導、家畜排せつ物処理の指導など畜産振興のために多種多様な業務を行っている。

### 海外からの特定家畜伝染病侵入防止

- 海外から肉製品が違法に持ち込まれないよう、海外旅行者、外国人実習生等に対し周知活動を行う。



### 中央家畜保健衛生所

- 中央家畜保健衛生所は平成30年2月に開所した新しい施設です。最新鋭の検査機器を使用して診断を行うことができます。また全国的にも珍しい特定家畜伝染病対策に特化した業務を行う部署が設置されています。



### 家畜衛生の向上

- 畜産農家の巡回指導、講演会の開催などにより家畜衛生に関する情報、技術等の普及を行う。
- 地域で問題となっている消化器病や呼吸器病などを低減するため、原因究明や指導を行う。

### 家畜の病性鑑定

- 家畜の病理解剖や病原体の分離、同定検査などを行い、ウイルス、細菌、病理、生化学など総合的に診断する。



### ある日のスケジュール(例)

8:30	業務開始
9:00	牛の検査のため畜産農家へ出発
10:00	農家到着
10:30~12:00	農家、獣医師と打合せ後、2班にわかれ牛200頭から採血
12:15~13:00	昼食
14:15	帰宅
14:30~15:30	検査室で検体処理、検査
16:00	検査結果を上司へ報告し畜産農家へ連絡
17:15	事務処理終了後帰宅

## 研修事業の紹介

- 福島県では、「福島県家保研修」として夏休み期間に獣医学生のインターンシップを受け入れており、家畜保健衛生所（家保）の日常業務と共に高度な研修を受けることができます。
- 「福島県家保研修」以外にも、復興から立ち上がる福島の今・福島の魅力を知ってもらい、さらに、家保の業務に関心を持ってもらうため、「獣医学生福島体験研修」を春休み期間に実施しています。
- いずれの研修も、県の規定に基づき交通費・宿泊費を補助します。  
（他の団体から補助を受けて参加する場合、重複して県の補助は受けられません）
- 申込書等は、お問い合わせいただくか福島県畜産課ホームページ、大学窓口でも入手可能です。



▲福島県畜産課 HP

### 福島県家保研修

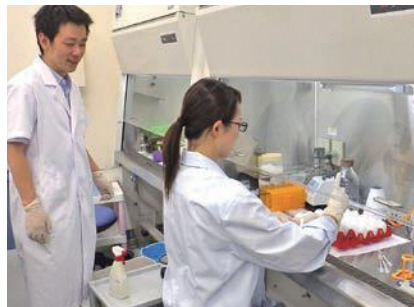
- 令和4年度福島県家保研修（予定人数：6名程度）  
令和4年8月下旬～9月上旬 開催予定  
（上記の期間で学生の希望を調整し<sup>※1</sup>、月曜日から金曜日までの5日間の研修を行います。）
- 申込期間 令和4年5月下旬～7月上旬予定  
（詳細は福島県畜産課ホームページでご確認ください）

### 福島県家保研修<sup>※2</sup>の内容

#### 研修風景



農場研修（牛の採血）



ウイルス検査実習



防疫資材点検

#### 研修スケジュール<sup>※3</sup>（例）

日程	内容
1日目	講義 「家畜保健衛生所の業務について」 実習 「庁舎内施設見学」
2日目	実習 「牛ヨーネ病検査」 ○ 農場での採材 ○ 検体処理
3日目	講義 「福島県獣医師の活躍分野について」 実習 「防疫資材点検」 実習 「福島空港における水際対策見学」
4日目	講義 「病性鑑定課の業務について」 実習 「鳥インフルエンザモニタリング検査」 ○ 農場での採材 ○ 検体処理
5日目	実習 「病性鑑定施設見学」

#### 受講生のコメント<sup>※4</sup>

- 荻野 紗帆さん（北海道大学4年生）  
研修中に様々な疑問に答えていただき、たくさんの方の知識を得られました。  
女性職員が多いことから、出産や子育てに関する制度が整備されているように感じました。
- 松井 奎吾さん（山口大学4年生）  
大学では学べないことを実際に体験できました。就職に関する情報やアドバイスなども教えていただいたので、今後の就活に役立ちそうです。

※1：申し込み状況によっては、希望する日程に受講できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。  
 ※2：令和2年8月24日～28日、8月31日～9月4日に福島県中央家畜保健衛生所で実施しました。（2週合計4名参加）  
 ※3：研修内容は、家畜保健衛生所の業務スケジュールに合わせて行うため、週ごとに内容が変わります。  
 ※4：研修参加時の学年を記載しています。

獣医学生福島体験研修

■ 令和4年度獣医学生福島体験研修（予定人数：10名程度）  
令和5年2月下旬 開催予定

■ 申込期間 令和4年10月上旬～令和5年1月下旬予定  
（詳細は福島県畜産課ホームページでご確認ください）



獣医学生福島体験研修<sup>※1</sup>の内容

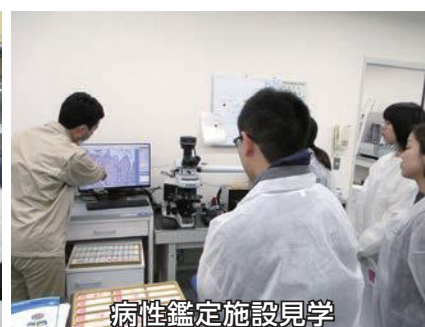
研修風景



鶏からの採材実習



検査実習



病性鑑定施設見学



復興関連牧場見学



コミュニティ福島見学



研修スケジュール<sup>※2</sup> (例)

日程	内容
1日目	講義 「福島県獣医師の活躍分野について」 講義 「家畜保健衛生所の業務について」 実習 「鶏検査実習」 ○ 採血・スワブ採取 ○ 検査実習（鳥インフルエンザなど）
2日目	現地視察 ○ 復興関連牧場 ○ Jヴィレッジ ○ 福島県環境創造センター交流棟「コミュニティ福島」 ○ 福島県動物愛護センター
3日目	講義 「特定家畜伝染病への対応と安全対策・監視課の業務について」 講義 「病性鑑定課の業務について」 実習 「病性鑑定施設見学」

受講生のコメント<sup>※3</sup>

■ 井戸 香奈子さん（北里大学4年生）

この3日間の研修は、家保の業務と福島県について詳しくなる、良いところ取りの研修でした。また、震災後経営を再開した農場の方のお話や、放射線に関するお話を聞いて、福島の人々の前に進もうとする強い力を感じ、私も少しでも復興の力になれたらと思いました。

■ 上野 香菜子さん（日本獣医生命科学大学3年生）

福島県というと震災や原発事故から段々と復興している場所というぼんやりとした印象でしたが、家保の業務、福島の人々の良さ、震災や原発事故後の復興や現状についてたくさんのお話を肌で感じることができました。将来どのような獣医師になるか決めていく上で大きく役立つと思います。

※1：令和2年2月26日～28日に実施しました。（計6名参加）  
 ※2：研修内容は、福島県の復興状況や家畜衛生をめぐる情勢等に応じて、毎年変わります。  
 ※3：研修参加時の学年を記載しています。

## 先輩職員からのメッセージ（獣医師）



さいごう ともたか  
**西郷 智貴**  
平成 29 年度採用  
(北里大学卒 山口県出身)  
中央家畜保健衛生所  
病性鑑定課

### ●福島県に入庁した理由、抱負

私は福島体験研修に参加した際に、県民の皆さんが新たな福島に向かい歩んでいる姿を見て感銘を受けました。家畜の伝染病の発生予防・疾病調査などを通じて食の安全を支える、農家さんの支援に携わる、消費者の皆さんに安全であることをアピールするなど、たくさんのことに取り組む必要があると考えます。まだまだ自分の知識は浅いので先輩方や農家さんとの関わりを通じて仕事を早く覚えて、少しでも復興に貢献できればと思います。

### ●獣医学生の皆さんへメッセージ

まずはぜひ福島に訪れてみてください。私自身、体験研修に参加するまでは自分にはあまり縁のない地であると感じていました。しかし、美味しい食べ物であったり豊かな自然、人々の温かさを感じて考え方が変わりました。また、最近では県外出身者の割合も増えてきているようです。実際に来てみて福島のことを少しでも知って興味を持ってもらえたらと思います。



すずき ももか  
**鈴木 桃香**  
令和 2 年度採用  
(日本大学卒 福島県出身)  
県北家畜保健衛生所  
防疫課

### ●福島県に入庁した理由、抱負

私はフィールドで働きたいという思いから家畜保健衛生所への就職を志願し、この度地元である福島県の県北家畜保健衛生所への配属となりました。故郷である福島県や今後関わり合う農家さんに報いられるよう確かな知識を持ってフィールドでしっかり動けるように精進していきます。

### ●獣医学生の皆さんへメッセージ

この原稿を見ているということは現在就職先についていろいろと考えていらっしゃるかとと思います。

獣医師の携われる職域は多岐にわたりますが、様々な職域を体験して自分の納得がいく選択をしてもらえたらいいなと思います。また、福島県は自然が豊かで、季節ごとに緩やかに変わっていく風景や空気感、動植物等フィールドが好きな方ならきっと魅力的に感じる要素がたくさんあります。もし福島県に興味があるようでしたら是非研修に参加し、福島の雰囲気を感じてみてください。



▲豚熱ワクチン接種



いしだ まな  
**石田 真菜**  
平成 30 年度採用  
(帯広畜産大学卒 福島県出身)  
畜産研究所  
動物工学科

### ●福島県に入庁した理由、抱負

福島県の畜産業に貢献することを目標として獣医師を志し、この度畜産研究所に配属となりました。畜産農家の方々には、それぞれに悩みや希望があり、それは福島県内の風土や飼養形態に左右されていると思います。畜産研究所での研究を通して、県内の生産者が抱える問題点を解決し、満足のいく経営や生産活動に寄与できればと考えています。また、生産者の方だけでなく、県民の皆様にも県の畜産業を自慢に思ってもらえるように日々精進し業務に励んでいきたいです。

### ●獣医学生の皆さんへメッセージ

ひとくちに畜産業といっても、産業動物の診療団体や、農場の専属獣医師、大学など選択肢はたくさんあります。自分がやりたい仕事や職場の雰囲気、ライフスタイルなどを含めて説明会や研修に参加し調べてみるといいのではないのでしょうか。公務員獣医師は、家保への配属以外に畜産研究所で研究員として診療と研究をする場合があります。いずれにしてもやりがいがある仕事ですが、自分の興味に応じて調べてみるといいと思います。



▲牛の直腸検査



他にも、多くの先輩獣医師が活躍しています！



家畜保健衛生所の先輩獣医師からの  
メッセージ動画を公開中！  
ホームページをチェックしてみてください！

福島県畜産課

検索

## 勤務先、待遇

- 職務内容 農林事務所、農業普及所、農業総合センター（畜産研究所）、農林水産部畜産課等に勤務し、畜産振興・普及、試験研究等の業務に従事
- 給料等 福島県給与規定に基づき支給  
 (令和4年4月1日新規採用者の給与の例)  
 (行政職) 193,100円  
 ※農業普及員資格取得により普及手当(8%)支給  
 (研究職) 198,500円

## 畜産職の業務内容（農林事務所、畜産研究所等）



■超音波肉質診断装置を生きた牛にあてることで脂肪交雑（霜降り）や皮下脂肪の厚さ、ロース芯面積等を推定することができます。  
 ■各データを蓄積し、技術を普及させ、肥育経営の改善につなげていきます。

■乳牛は「妊娠・分娩・搾乳」のサイクルを繰り返します。各ステージに応じ、適正な体型であるか確認し、飼料の給与量に過不足がないか飼料メニューは適正かなどを農業者にアドバイスし、経営の安定につなげます。

■震災後、初めて放牧を開始する農地では、牛を放牧した時に牛が放射性物質に汚染された飼料を摂取する恐れがないか安全性を事前に確認し、安全な畜産物の生産につなげます。



## 先輩職員からのメッセージ（畜産職）



せき わたる  
関 航  
平成 28 年度採用  
(福島県出身)  
平成 31.4 ~ 現在  
農林水産部 畜産課

## ●現在の仕事内容

現在の主な業務は、消費者ニーズに沿った牛肉生産に向けた和牛の改良業務、安全安心な牛肉の流通のための出荷調整業務、被災地域における営農再開支援等です。

震災により大きなダメージを受けた本県畜産基盤の再生には必要な業務と考えています。

未だ残る風評被害の払拭や「福島牛」のブランド力向上、なにより前向きな畜産農家の方々を支えるために、日々関係機関と強く連携しながら業務に携わっています。

## ●仕事で心がけていること

自身のアンテナを常に高くし、「なぜその業務をしているのか？」を明確にすることを心がけています。

誰でも最初は初心者ですので日々の自発的な勉強は必要ですが、「目的を明確にして学ぶ」ことが重要です。

どうしてもわからないことは、遠慮なく先輩職員に聞いてみてください。技術的なことなら、思い切って農家さんに聞いてみるのも、仲良くなるきっかけになるかも知れませんよ。



▲和牛改良に向け、牛の発育等を調査



よこかわ ちひろ  
横川 智拓  
平成 27 年度採用  
(福島県出身)  
令和 3.4 ~ 現在  
農林水産部 畜産課

## ●県職員を志した理由

幼い頃から動物が大好きで、動物に関わる仕事がしたいと思い、大学では畜産を学びました。大学の講義では、震災後の福島県畜産の現状や「放れ畜」の問題などが多く取り上げられていました。大学時代を県外で過ごし、少し離れて福島を見つめたときに、「やっぱり福島が好きなんだなあ」と感じるようになり、福島県畜産の復活に携わりたいと思い、福島県職員を志望しました。

## ●受験者へメッセージ

畜産職は、畜産農業者の方々や市町村の担当者等と協力して、安全で美味しい畜産物を生産し、活力ある産地を創る仕事です。職場も、農業者の方々への支援・指導を行う普及指導の部署や試験研究機関、畜産行政を担当する部署など多岐にわたります。仕事のひとつひとつが「農業者の皆さんを笑顔にする！地域を活性化する！」ことにつながっています。魅力あふれる福島の畜産を再構築するため、皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています！



▲分娩直後の母牛と子牛の状態を確認している様子



こまつ かずき  
小松 一樹  
平成 31 年度採用  
(福島県出身)  
平成 31.4 ~ 令和 4.3  
県中農林事務所  
令和 4.4 ~  
畜産研究所 肉畜科

## ●農林事務所での仕事内容

農林事務所では、農業の担い手育成や経営支援、産地づくり等、農業の振興に関する業務を行っています。その中で私は、畜産農家を対象に、技術的支援や補助金の案内等、農家の方がより安定した経営ができるようサポートする業務を担当しています。

## ●職場の雰囲気

コミュニケーションの活発な職場で、すぐに馴染むことができました。仕事でわからないことがあったとき、誰にでも聞きやすく、丁寧に教えてもらっています。また、仕事以外の面でも人生の先輩として生活上の様々なアドバイスをいただけて、充実した毎日を過ごしています。

## ●受験者へメッセージ

進路を決めるとき、福島県の畜産復興の力になりたいと思うのと同時に将来への大きな不安がありました。そんな自分を支えてくれたのが、相談に乗ってくれた家族や同じ目標があった仲間たちの存在でした。皆さんも、周りの人を頼りながら「心身共に健康」を一番に頑張ってください。皆さんとともに福島県のために働けることを心待ちにしています。



▲農業者へ向けた研修会

## ●お問い合わせ先

## 【研修事業】福島県農林水産部畜産課

TEL.024-521-7364 E-mail:eiseishiryu@pref.fukushima.lg.jp

## 【採用試験】福島県農林水産部農林総務課

TEL.024-521-7391 E-mail:soumu.aff@pref.fukushima.lg.jp

## ●県ホームページ

採用情報

福島県人事課

検索

家保業務や研修紹介

福島県畜産課

検索

